

# アレルギー疾患に関する3歳児全都調査（概要版）

## ■ 調査目的

都内の3歳児におけるアレルギー疾患のり患状況を把握し、平成11年度と平成16年度に実施した同様の調査との比較を行い、10年間のり患状況の推移をみる

## ■ 調査対象

平成21年10月の都内3歳児健康診査受診者（以下「児」という。）及びその保護者（7,247人の保護者に調査票を配布）

## ■ 調査方法

区市町村の協力により、7,247人の保護者へ無記名による自記式調査票を配布し、郵送で回収

## ■ 有効回答数

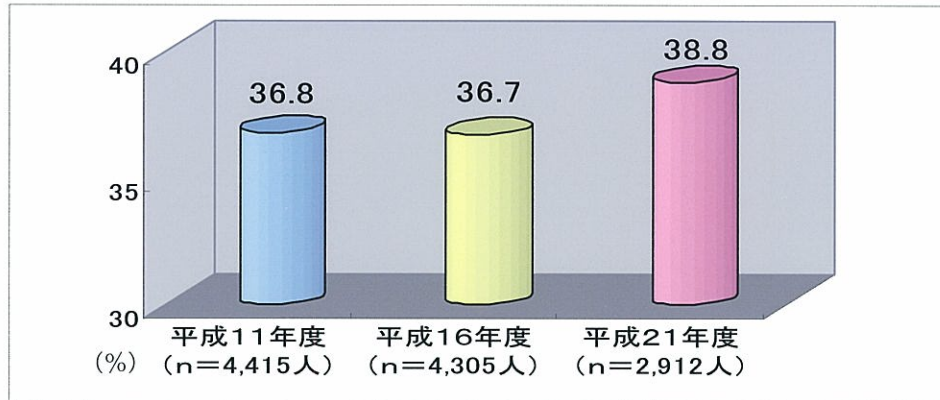
2,912人（有効回答率40.2%）

## ■ 主な調査内容

- アレルギー疾患\*のり患状況（症状の有無、医師の診断の有無）  
※ぜん息、食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎
- 保育所等への通所状況
- アレルギー疾患に関する要望

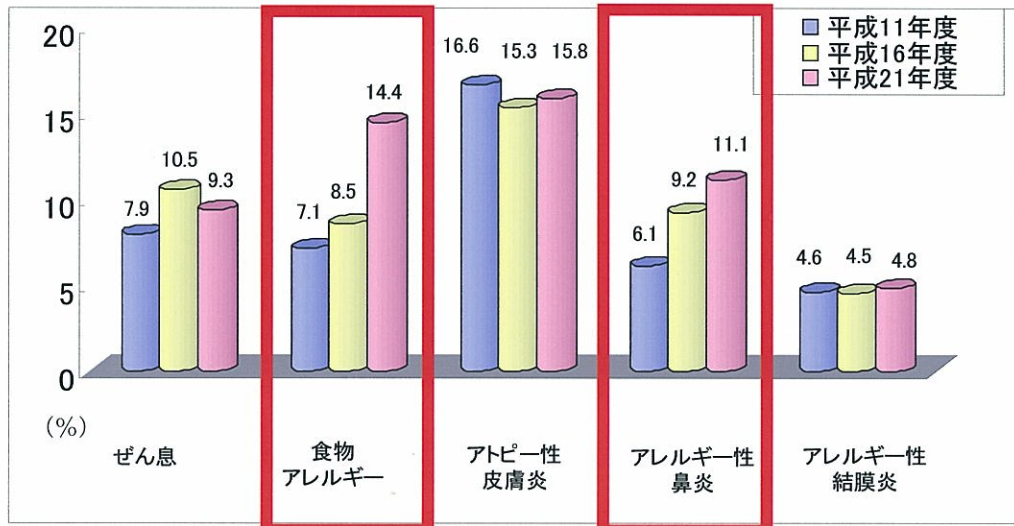
## 1 3歳までに何らかのアレルギー疾患にり患している児は約4割で推移

図1 3歳までに何らかのアレルギー症状があり、診断を受けている児の割合



## 2 「食物アレルギー」と「アレルギー性鼻炎」が増加傾向 「アトピー性皮膚炎」は常に高いり患率で推移

図2 各アレルギー疾患のり患状況の推移(3歳までにアレルギー症状があり、診断を受けている児の割合)



**3 保育所等に通所している児（39.0%）のうち、何らかのアレルギー疾患の診断を受けている児は4割以上（44.3%）**

図3 保育所等への通所状況

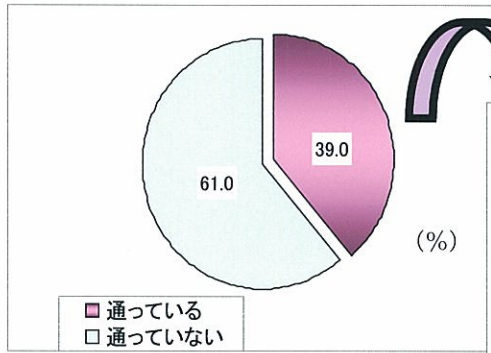


図4 通所している児のうち、アレルギー疾患の診断を受けている児の割合

